

第3回

『新・資産運用キホンのキ』

～自分を知って最適な運用を～



第3回の講座内容

目標: リスク許容度を知って運用するときの参考にすることができる！
3種類のNISAの仕組みが分かる！
自分が運用すべき金融商品分かり、組み合わせを考え始める！

- ① リスク許容度チェックをしてみよう！
- ② 資産運用の戦略とは！
- ③ 資産運用で買うべき金融商品とは！
- ④ 3つのNISAを押さえよう！

①自分のリスク許容度を知ろう！

- 運用、投資でのリスクとは収益(リターン)の(振れ幅)のことです。
- 収益(リターン)がマイナスに振れてしまった場合、どれくらいまでなら受け入れることができるかの度合いのこと。

家族構成も
関係しますね

リスク許容度が低い

小さい

高い

浅い

多い

安定志向

収入・資産額

年齢

投資経験

今後のライフイベント

性格

リスク許容度が高い

大きい

低い

豊富

少ない

リスク志向

リスク許容度をチェック！

①自分のリスク許容度を知ろう！

- [モーニングスター \[投資スタイル診断\]](#)
- [WealthNavi 無料診断](#)
- [フィデリティ リスク許容度診断](#)

あなたのリスク許容度は？

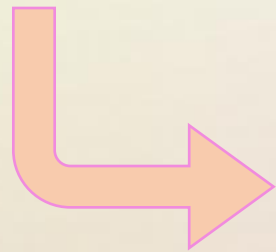
リスク許容度に合った運用が大事！

①自分のリスク許容度を知ろう！

●リスク許容度に合っていないとこうなる

- ・毎日の値動きが気になって仕事が手につかなくなる。
- ・マイナスや下落で夜も寝られなくなる。
- ・ちょっとした値下がりですぐに売ってしまう。

運用を長く継続
するためには、
まずは心の安定
が大事です♡

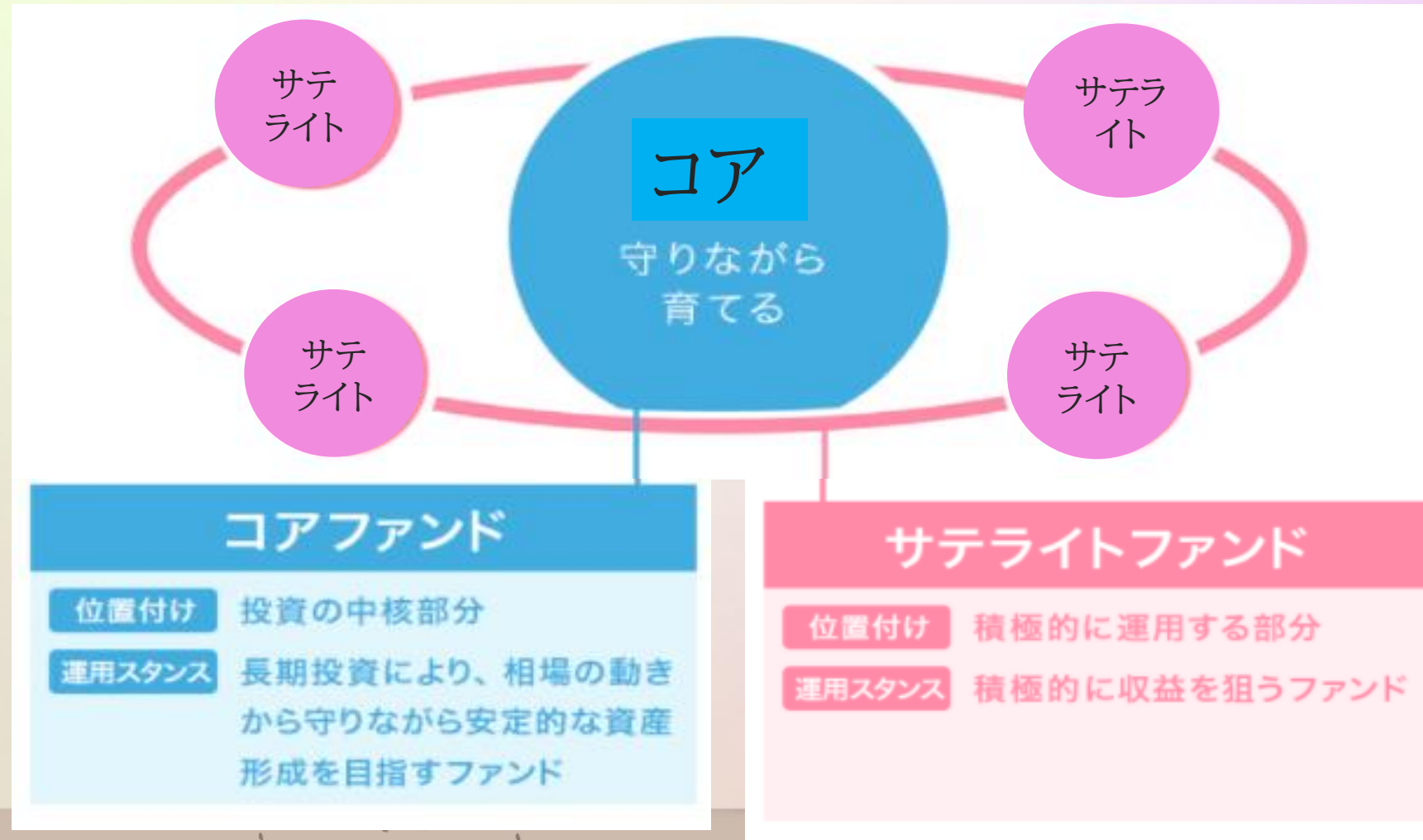


●そんな時には見直し！！

- ・資産運用に回す金額が多すぎないか！
- ・金融商品が適切か！
- ・資産運用の合言葉を忘れていないか！

②資産運用の戦略とは？

●（ コア & サテライト戦略 ）



・サテライト部分から入ってしまう人が多い！！

・コアから作っていきこう！

ここで復習！ 資産運用の合言葉

Q.合言葉をチェック！！

- ・余裕資金
- ・長期運用
- ・分散投資
- ・積み立て
- ・複利運用

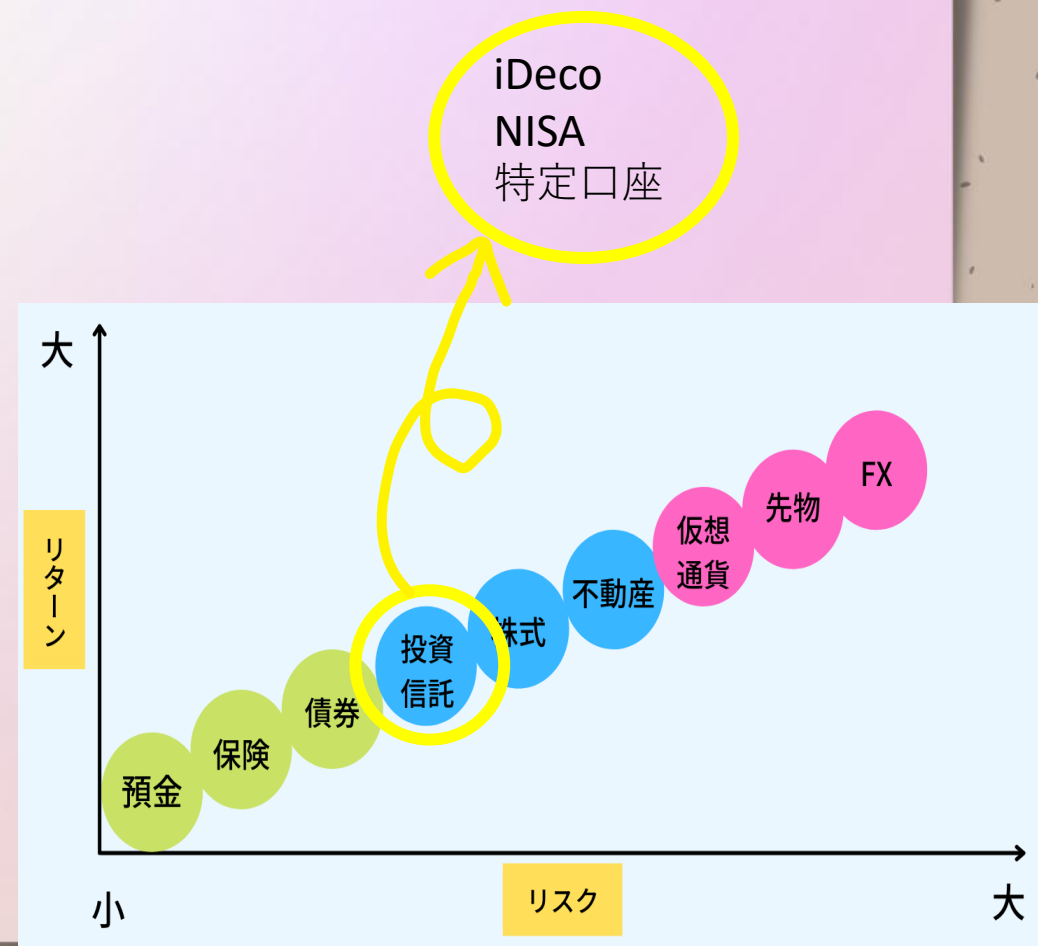


③資産運用で買うべき金融商品とは？

リスクが比較的押さえられる金融商品
(余裕資金) で、
(積み立て) られて、
(分散) できて、(長期 & 複利)
で運用できるもの

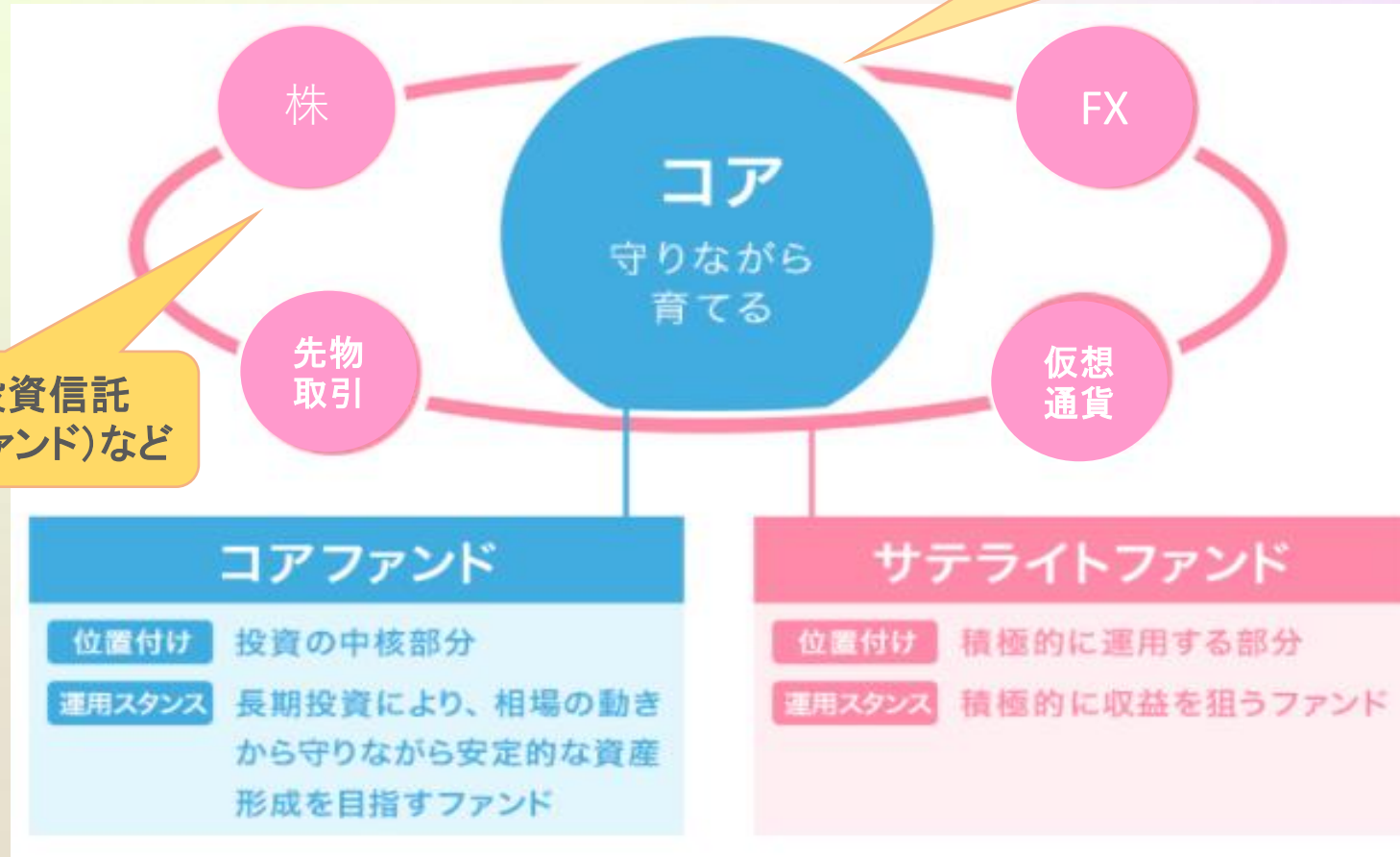
↓ と言ったら

投資信託！！



コアとサテライトをチェック！

③資産運用で買うべき金融商品とは？

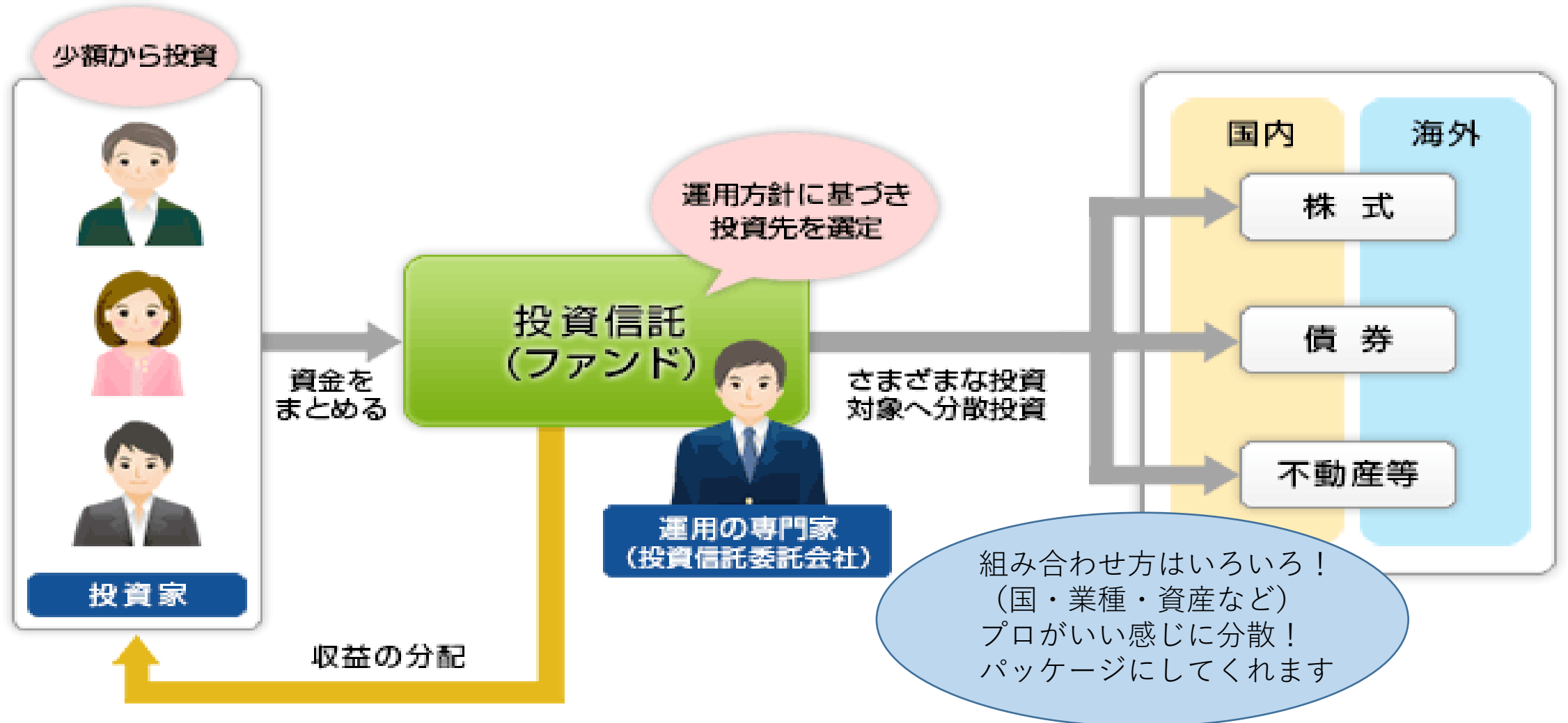


- ・**コア**が大事！
この講座では
コアを作ります
- ・**サテライト**は
遊びの部分
コアの0～20%
以内で運用。
(しなくてもいい)
- ・コアだけだと
つまらない...
そんな方向け！

投資信託ってなに？

③資産運用で買うべき金融商品とは？

★自分の「資産を投じ信じて託す」のが、投資信託です。



投資信託をお得に買うには？

③資産運用で買うべき金融商品とは？

Q： 投資信託はどこでかえる？

A: (銀行 郵便局 証券会社 ネット証券 など)

一番のおすすめは

ネット証券会社の

iDeCo or NISA

※取り扱っている
投資信託の

- ・数
- ・種類
- ・手数料 が違います！

運用益に税金か
かからないよ^^

運用益に税金がかからないとは？

③資産運用で買うべき金融商品とは？

一般口座、特定口座の場合

iDeCo/NISA口座の場合

資産運用をして10万円の利益を得た！



通常の運用だと
受け取れるのは

約8万円



2万315円(10万円×20.315%)
の税金がかかる



つみたてNISAでの運用だと
受け取れるのは

10万円



つみたてNISAなら
運用中の利益は非課税！

利益がまるまる手元に入る

まずは、コアはこれにきまり(^^)/

③資産運用で買うべき金融商品とは？

答え: NISA か iDeCo で
投資信託を買う！！

または、

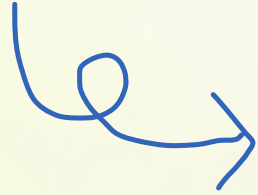
NISA と iDeCo で
投資信託を買う！！

まだ運用
できそうなら、
特定口座で！！

※小規模企業共済、
国民年基金を
コアにしてもOK！
組み合わせてもOK！！



3つのNISAを押さえよう！



NISA（ニーサ） / 少額投資非課税制度
Nippon Individual Savings Account

- 国が作った制度で3種類ある（一般NISA, 積立NISA, ジュニアNISA）
- 日本に住んでいる人なら誰でも始められる
- 投資の利益に税金がかからない
- 一般NISAと積立NISAはいつでも引き出せる
ジュニアNISAは2024年以降なら引き出せる
- 年金作りとしても、他の資金作りとしても使える
- 投資信託、株、ETFが買える

株、投資信託、ETFとは？

3つのNISAを押さえよう！

●株

- ・会社独自の株
- ・株を買う＝出資する＝会社の株主になる
- ・日本株、外国株がある。

ソニー、ANA、
APPLE など。

●投資信託

- ・株をファンドマネージャが複数寄せ集めて1つのパッケージにしたもの
- ・個人では買いにくい株にも投資できる
- ・少額でも買える

ニッセイ日経
225インデック
スファンドなど

●ETF

- ・証券取引所に上場されている投資信託のようなもの
- ・1株ずつ買う。購入単価は高いものがある。ドルコストは効かない
- ・手数料は投資信託より低い
- ・分配金が年3回～4回ある
毎月分配金がもらえるようにかうこともできる。（利回り2.5～4.5%）

VT, VTI,
QQQ, SPXL,
VOOなど

徹底比較!

運用期間は「つみたてNISA」、年間非課税枠は「NISA」に軍配

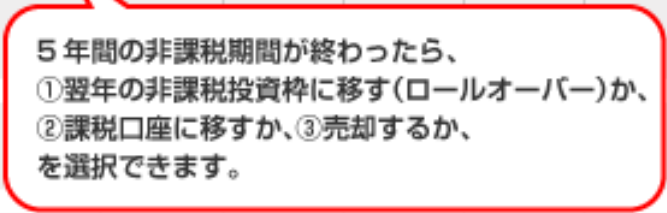
種類	積み立てに特化した新制度 つみたてNISA	投資の自由度が最も高い NISA	子どものお金を非課税で ジュニアNISA
対象年齢	20歳以上	20歳以上	0歳～19歳
最大期間	20年	5年	5年
ロールオーバー	不可	可	可
非課税枠 (年間)	40万円	120万円	80万円
非課税枠 (総額)	800万円	600万円	400万円
投資対象	条件に適合の 株式投資信託、ETF	国内・国外の上場株式、株式投資信託 ※上場株式はETF・リートを含む	国内・国外の上場株式、株式投資信託 ※上場株式はETF・リートを含む
投資方法	定期的・継続的な方法	制限なし	制限なし
出金	自由	自由	18歳まで非課税の引き出し不可*1
運用が始め られる期間	18年1月～37年12月末	14年1月～23年12月末	16年4月～23年12月末*2
最後の運用が 終了する日	56年12月末	27年12月末	27年12月末*3
特徴& こんな人に オススメ!	老後資金など長期の資産形成に 非課税期間は最長の20年、非課税総額も 800万円と最大だ。ただし1年上取額は 40万円とかなり少なめ。投資方法は積み 立てが原則。投資対象の商品は、一定条件 をクリアした株式投資信託やETFのみ。	自由に売買をしたい人はこれ 投資商品やタイミングの自由度が高く、自 分の裁量で売買がしたい人向け。年間の非 課税枠も120万円と最大。非課税期間は5 年だが、終了後に、次の非課税枠を使って、 さらに5年のロールオーバーが可能。	子どもに使うお金を作る制度 子どもの将来のお金を作るための口座。名 義は子ども本人だが、投資や管理は親権者 が代理で行なう*4。子どもが18歳になる まで非課税の引き出し不可*1。なお20歳 以降、通常NISAにロールオーバーが可能。

*1 3月末時点で18歳である年の前年の12月末まで。*2 24年以降も口座開設者が20歳に到達するまでは非課税保有を継続可能。*3 23年に0歳の子が20歳になる最終年度まで口座は維持可。

NISAとiDeCoの違い

種類	つみたてNISA	NISA	ジュニアNISA	iDeCo
対象年齢	20歳以上	20歳以上	0歳～19歳	20歳以上60歳未満
最大期間	20年	5年	5年	60歳まで（運用はさらに10年の延長が可能）
ロールオーバー	不可	可	可	—
非課税枠（年間）	40万円	120万円	80万円	加入する人の職業などによって異なる（例：会社員14.4万円～27.6万円、公務員14.4万円、専業主婦・主夫27.6万円、自営業者81.6万円）
非課税枠（総額）	800万円	600万円	400万円	加入する人の職業などによって異なる
節税メリット	運用で得た利益は非課税	運用で得た利益は非課税	運用で得た利益は非課税	運用で得た利益は非課税。掛金分は全額が所得控除に。受け取り時にも控除あり。
投資対象	一定の条件にあった株式投資信託、ETF	国内・国外の上場株式、株式投資信託（※上場株式はETF・リートを含む）	国内・国外の上場株式、株式投資信託（※上場株式はETF・リートを含む）	株式や債券、リート、金などに投資する投資信託、定期預金など
投資方法	定期的・継続的に積み立てる方法	制限なし	制限なし	毎月一定額を積み立てる方法
出金	自由	自由	18歳まで非課税の引き出し不可	60歳までできない（積立期間が短いと受け取り可能時期が遅くなり、最も遅くて65歳から）

NISSA投資可能期間(平成26年～平成35年)

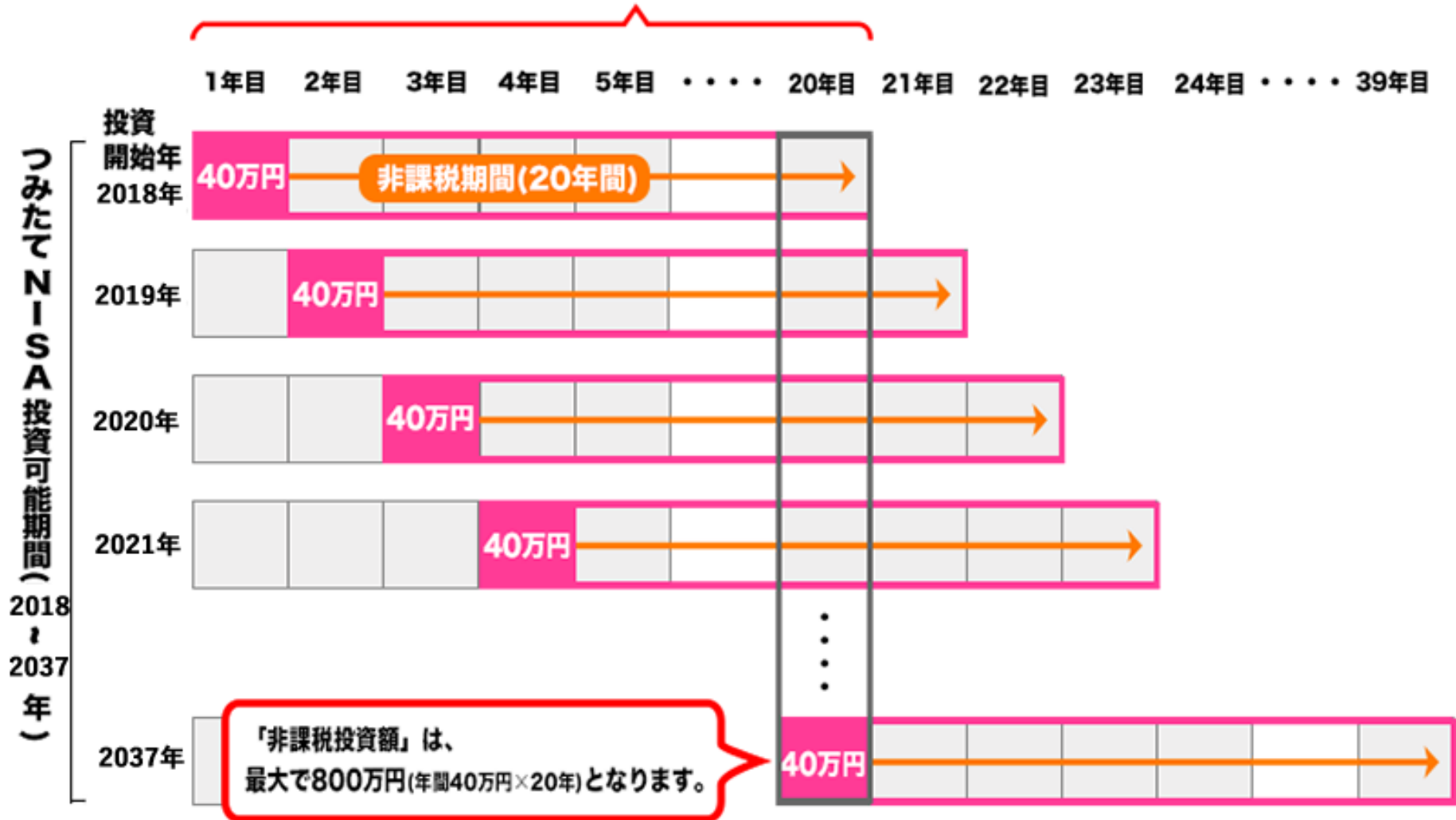


「非課税投資総額」は、
最大で600万円(年間120万円×5年)となります。

- ・2024年からは新NISAになる。
- ・スポット買い、積立でもOK
- ・途中で、積み立てNISAに変更できる。
(※5年のロールオーバーはなくなる)

積立NISA(ニーサ)

非課税期間は**20年間**



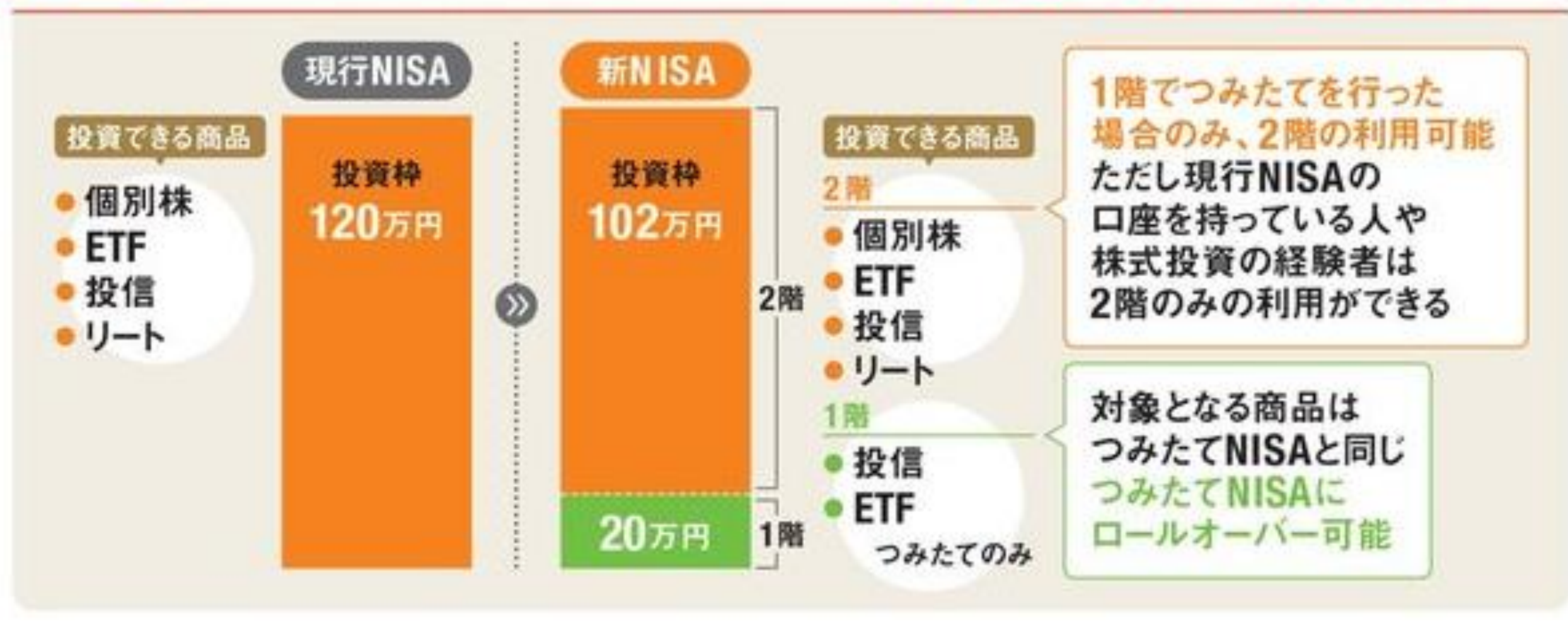
・積立設定
をして後は
放置でOK

・20年運用し
たら売却か、
課税口座で
さらに運用

・一般NISAを
始めてもOK

新NISA(ニーサ)

Check!! 一般NISAは2024年から2階建ての「新NISA」に



新NISA(ニーサ)

●現行NISAについて

- ・2022年、2023年の2年間しか積み立てできない。
- ・2年間に投資したものは、5年間非課税で運用できる。
5年後、新NISAへ増えた額全額ロールオーバーできる。(2028年まで)

●新NISA

- ・1階部分が積み立て、2階部分は現行と同じ。
→ 今のところ、5年間の運用期間。
積立部分は5年後、積立NISAにロールオーバーできる。
増えても、積立額のままでロールオーバー(簿価)
積立NISAの40万の枠が余れば、積立投資できる。
- ・2階建て部分は現行NISAと同じ。
現行NISAをしている人は新NISAで1階部分は使わなくてもいい。(申し出必要)
ただし、買えるのは個別株のみ、投資信託が買えない。
→ 1階部分を使っておく方がおすすめ。(満額でなくてよい)
- ・今は、5年間だけの運用ですが、今後新しい制度が出てくる可能性もあり。

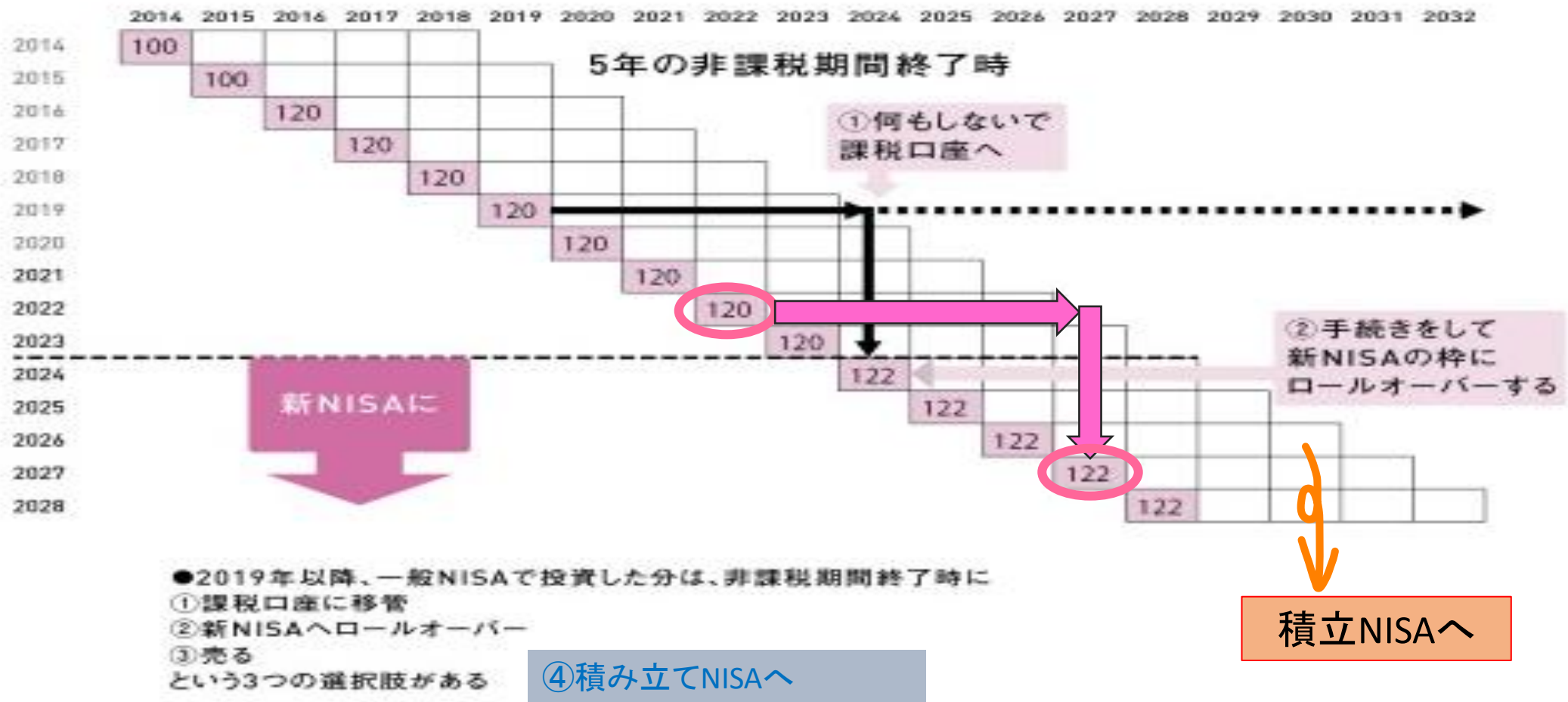


積立NISAへ

新NISA(ニーサ)

パターン①2024年から新NISA
②2022年から新NISA

図表3 一般NISA利用者の選択肢



(出所) 『こんなときどうする? どうなる? Q&A 3つのNISA 徹底活用術』

現行NISAから新NISAへのロールオーバー

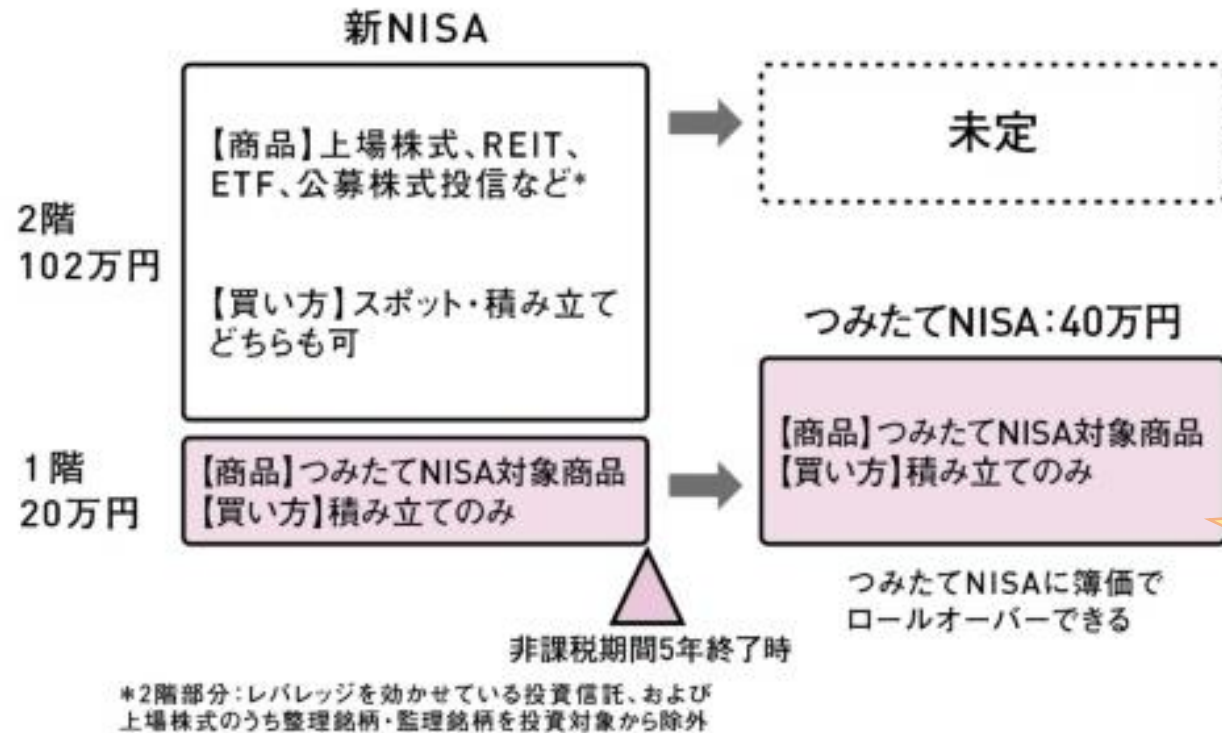
- 新NISAの122万円の枠を超えてのロールオーバー
→超えた額のままロールオーバー

- 新NISAの122万の枠を埋めずにロールオーバー
※新NISAの2階建て部分から埋めていく

- ①110万円をロールオーバーする場合
→1階の積立枠が12万円分残る。
→残った枠は使える。
- ②80万円をロールオーバー
→2階の22万円分と1階の20万円分が残る。
→1階部分を使えば2階部分を使える。
(※個別株なら1回部分を使わなくてもいい)



新NISA(ニーサ) 5年後に積立NISAへの移行について

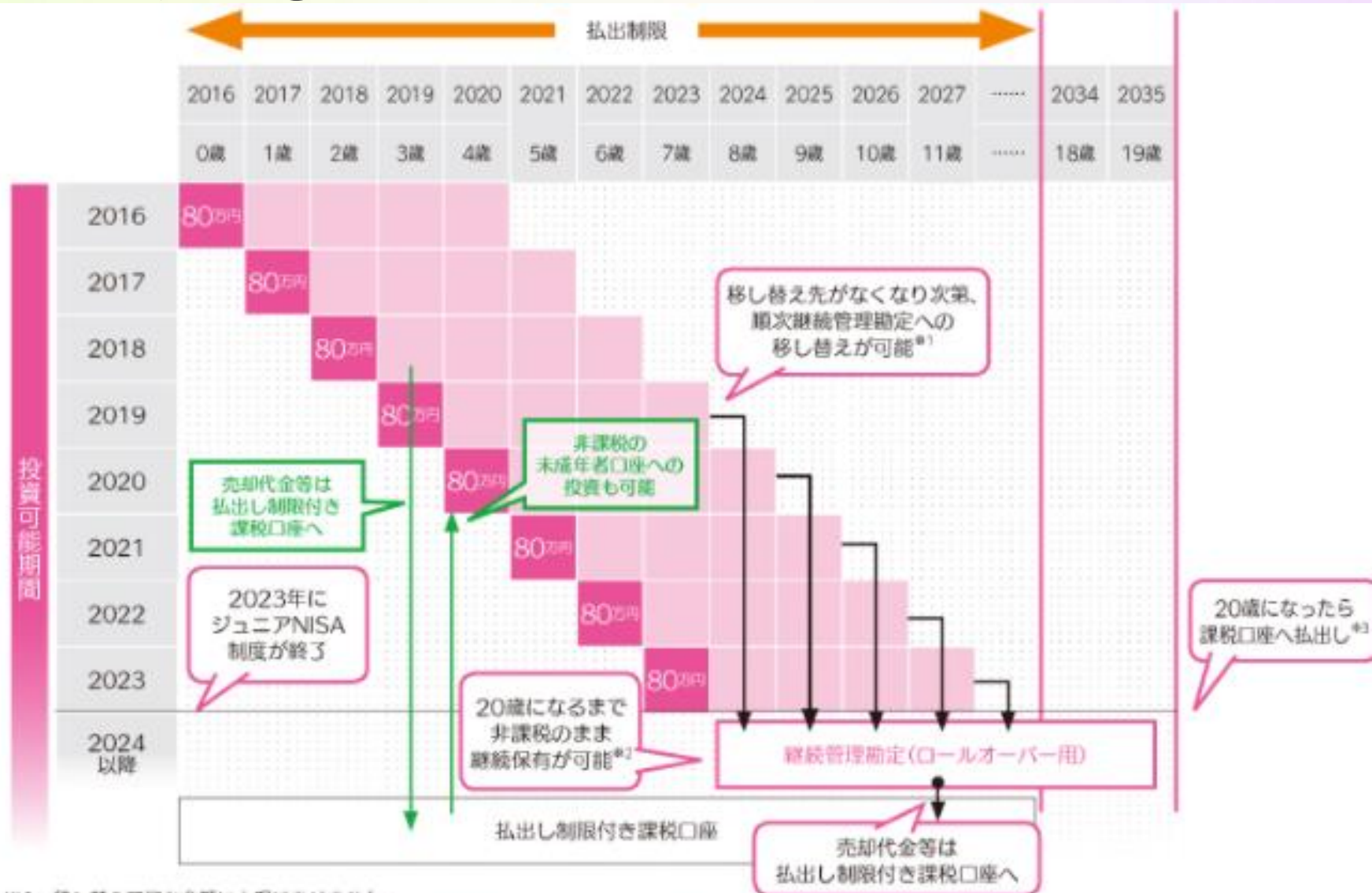


今は5年間で終了。
新たに何か
出てくるかも！

『簿価でロールオーバー』
20万が50万に増えても、
20万としてロール
オーバーできる

(出所) 『こんなときどうする？ どうなる？ Q&A 3つのNISA 徹底活用術』

ジュニアNISA



※1 移し替え可能な金額に上限はありません。

※2 継続管理勘定では、新規投資ができませんが、売却は可能です。 ※3 払出し時の時価が、新たな取得価格となります。

・2024年に制度が廃止

・廃止後はいつでも払出しOK.

ただし全額払い出しで、口座も解約になる。

・20歳まで非課税で運用し続けることも可能

・20歳以降は一般NISAへ

・特定口座に入れて、積立NISA

積立NISAの運用シュミレーションをしよう

●36歳、月33333円(年40万)を20年間、7%で運用。

①掛け金 (月 33,333 円) (年 400,000 円)

②積立総額 (8,000,000 円)
運用利益 (8,918,000 円)
合計金額 (16,918,000 円)

③積み立て時の節税額はなし

④運用時の節税額 (1,811,691 円)

←運用利益 × 20.315%



ほしい時に引き出せるのがいいね。
(全部でも、一部でもOK)
iDeCoにも同じ商品もあります！

積立NISAの運用シュミレーション

(満額で積み立てた場合)

※みらい電卓



毎月の積立金額

3.3333 万円



想定利回り (年率)

7 %



積立期間

20年 ▼



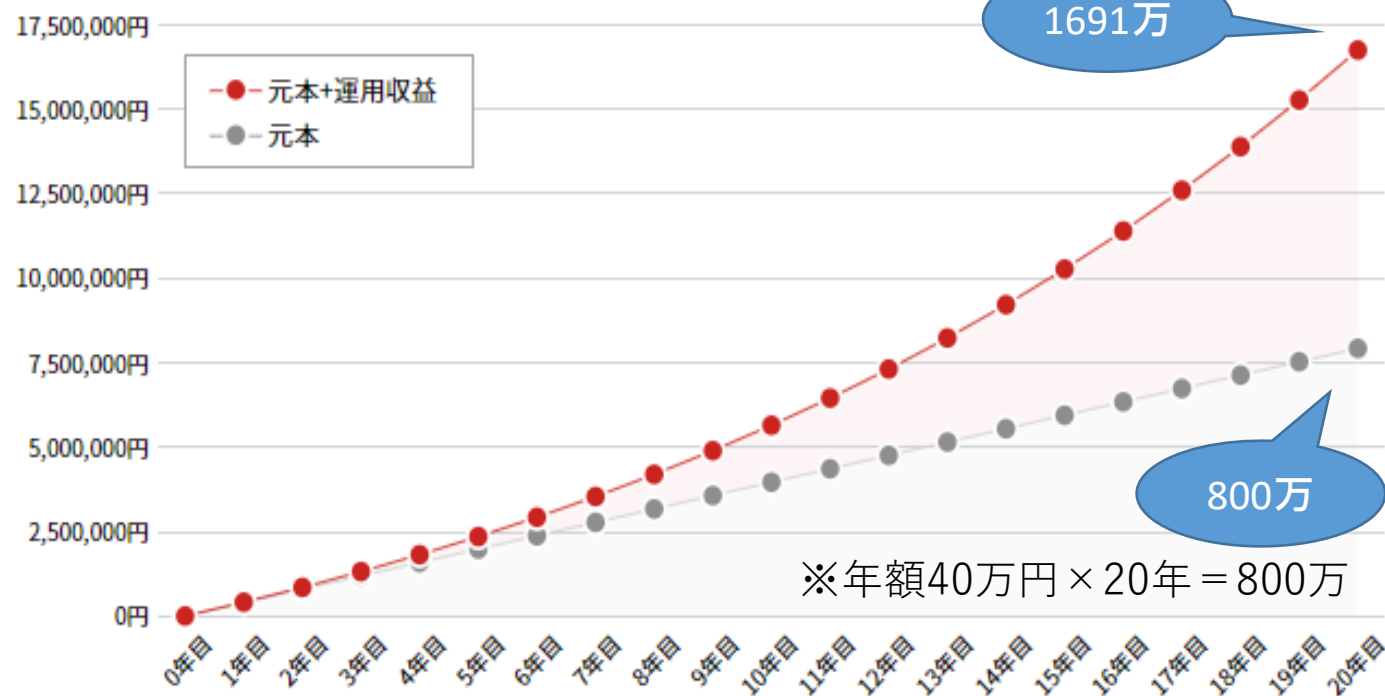
計算する

積立結果は**1,691.8万円**になります。

計算結果の詳細を閉じる



複利の効果で、後半グッと
伸びてきますね^^



一般NISAの運用シュミレーションをしよう ※みらい電卓



- 月10万円(年120万)を5年間、その後ロールオーバーで5年間運用する。
7%で運用。

①掛け金 (月 100000円) (年 1200000円)

②積立総額 (6000000円)
最初の5年間で(1120000円)、利益(7120,000円)
ロールオーバーした5年間の金額 (9,986,000円)

③積み立て時の節税額はなし

④運用時の節税額 (809,755円)
↑ 運用利益 × 20.315%



その後、特定口座(源泉徴収あり)で10年間運用すると、
19,644,000円 (+9,658,000円) (←税約196万)

・まとまったお金があるときは、一般NISAがおすすめ！

・10年後に、積み立てNISAを始めるのもあります！！
非課税枠を最大限に使いましょう。

・増えたお金は、特定口座で、税金を払うことになっても引き続き運用しましょう。

ジュニアNISA シミュレーション

※みらい電卓、複利計算



- 現在6歳。年間80万、月66,666円を2年間7%で運用。
 - 8歳から19歳は、そのまま20歳までほったらかし運用する。
 - 20歳から60歳まで、特定口座で運用を続ける。

①掛け金 (月 66,666円) (年 800,000 円)

②積立総額 (1,600,000 円)

③2年間の運用益 (1,708,000 円)

④8歳～20歳まで、そのまま非課税で運用すると、(3,847,000 円)

⑤その後、特定口座で40年ほったらかしで運用すると、(57,625,515 円)

・元本の160万円が
約5760万円に！！

・20歳以降は、NISA
や積立NISAを始めて
もOK.

・お子さんの口座で
すが、自分の資産を
増やす枠として私は
使っています。

児童手当ここだけの話♡

- 児童手当だけで、高校生になるまでに1人（約 200 万）もらえます。

意外と知らない人が多い！
児童手当をジュニアNISAに
回すの也有りです(^ ^)

児童の年齢	児童手当の額（一人あたりの月額）
3歳未満	一律 1万5,000円
3歳以上 小学校修了前	1万円 (第3子以降は1万5,000円)
中学生	一律 1万円

※出典：内閣府「児童手当制度のご案内」

今日のまとめ

- ・資産運用は、(NISA)と(iDeCo)の非課税枠を使うのが賢い！
- ・年金作り、住宅・教育資金などのまとまった資金のために(コア)にできる金融商品で長期運用する。
- ・コアにできる金融商品は(投資信託)がいい！
買ってもいいものを選んで買います。(←いよいよ次回！)
- ・NISAは(流動性)が高い。iDeCoは資金が拘束される。
- ・自分の(リスク許容度)に合った資産運用が大事！

資金の流動性は
大きな決め手にな
りますね。



第3回の講座内容

目標: リスク許容度を知って運用するときの参考にすることができる!
3種類のNISAの仕組みが分かる!
自分が運用すべき金融商品分かり、組み合わせを考え始める!

- ・年金作りには、国民年金基金
付加年金
小規模企業共済
iDeCo
NISA
- ・他の資金作りには、NISA(家族のNISA枠をフル活用)
特定口座(源泉徴収ありがおすすめ)

資金の拘束、
自分の性格、
資産状況などで、
どの仕組みを使う
か、どう組み合わ
せるかを考えてみ
ましょう。

次回の予告

- 買ってもいい投資信託と
買ってはいけない投資信託
- 良い投資信託の見分け方（重要）
- 自分に合った資産運用術を決めよう！
- 投資信託の買い付け方

4回目はかなり実践的な
内容になります！
しっかりついて
きてくださいね♡



Thank you

受講された皆さんが
投資に一步踏み出せますように！♡

